

京都大学フィールド 科学教育研究センター

Field Science Education and Research Center

全国10ヶ所に研究林・試験地・実験所



フィールド研が提唱する森里海連環学 — “心に森”を築く—



森里海連環学とは・・・

森から海に至る様々な生態系の相互作用を生物や物質の視点から解明する一方、そこに育まれている人々の営みや文化も解析し、環境重視の自然とのつきあい方を考える統合的な学問領域

フィールド研のウェブページで連載「森里海連環学入門」をご覧ください

京都大学フィールド科学教育研究センター Field Science Education and Research Center, Kyoto University

フィールドでの実体験を重視した教育

フィールド研は全学共通科目に6科目、ILASセミナーに15科目を提供しています



地域・人々に開かれた学びのフィールド

フィールド研の各施設では、「施設公開」・「自然観察会」・「森林体験学習」・「水族館こども解説ツアー/バックヤードツアー」などを実施



京都大学フィールド科学教育研究センター Field Science Education and Research Center, Kyoto University

センター長からのメッセージ・・・



地球規模での環境問題が生物多様性の減少や人間の生活に与える影響は日々深刻化しています。フィールドワークを通じて学び研究することは、それらの問題を理解し解決する重要な意味を持ちます。そういう場を活用した若手人材育成は、地球環境問題に長期的に取り組むために必須です。フィールド研ではそのような観点から森里海連環学を標榜し研究、教育を行っています。多くの方々が各地施設を利用され、研究と教育の場として活用していただければと思います。

センター長 館野 隆之輔

◆問い合わせ先
京大フィールド研・企画情報室
電話：075-753-6420
◆ウェブページ
<https://fserc.kyoto-u.ac.jp>



京都大学フィールド科学教育研究センター Field Science Education and Research Center, Kyoto University

フィールド研が進める研究プロジェクト

気仙沼プロジェクト(宮城県)

島山重篤社会連携教授の営む牡蠣養殖場のある気仙沼舞根湾において、震災後の生態系の連環再生を調査・研究しています



島山 海岸生物群集一世間調査(和歌山県)

和歌山県田辺湾の「島山」では、1963年から、ムラサキウニの個体数調査など、長期モニタリングが行われています



京都大学フィールド科学教育研究センター Field Science Education and Research Center, Kyoto University

芦生希少植物域外保全プロジェクト(京都府)

絶滅の危機に直面している研究林内の希少植物種を、京都大学や京都府立植物園の域外(林外)で増殖・栽培管理して保全しています



新しい里山・里海 共創プロジェクト

イオン環境財団とともに、科学者と市民が手を取り合い、シチズンサイエンスとして「里山・里海評価手法の開発」をめざします





新しい里山・里海 共創プロジェクト

新しい里山・里海のあり方をみんなで考え、創る…そのための3つの柱

フィールド研および公益財団法人イオン環境財団により2022年度からスタートしたプロジェクトです。本事業では、森里海連環学に基づく新しい里山・里海の共創に向けた教育・研究・社会連携活動を進めていきます。新しい里山・里海の多様なあり方を提案し、里山・里海に関わる地域の方々が、研究者等と協働しプロジェクトから得られる科学的な知見を活用して、自立的・持続的な活動を共に創り出せるシチズンサイエンスの場となることを目指しています。

新しい里山づくりは上賀茂試験地を、里海づくりは舞鶴水産実験所と瀬戸臨海実験所をその拠点として、関西圏でさまざまな活動を展開しています。

現状を知る



各地の里山・里海の自然・文化的特徴を理解し、持続可能な里山・里海の評価方法を開発します。

多様性調査、環境DNA、化学分析等による自然科学をベースにした評価、さらにアンケートや聞き取り調査を通じて、里山・里海の地域ごとの特徴を評価します。

各地域の里山・里海で活動する方々と協力し、可能なかぎり市民参加による調査や観察会・ワークショップを実施し、将来は自律的に管理していける体制づくりにつなげていきます。

モデルとなる里山・里海をつくる



上賀茂試験地などフィールド研の各施設を活用して、各地の里山・里海の知恵を集めたり、先進的な技術等を活用した、新しい里山・里海づくりを推進していきます。

また、小さいお子さんからお年寄り、障がいのある方など誰もが参加できる里山・里海づくりのあり方を模索していきます。日に日に進化する新技術も活用した里山・里海づくりを目指して活動を進めていきます。

新しい里山・里海を創る人たちとつながる



近畿を中心に里山・里海の活動団体に声をかけ、勉強会や交流会を開催し、様々な活動をつなぐ場をつくります。既にある仕組へ媒介する役割を担いつつ、まだ仕組のないところではコンソーシアムのような機能をつくっていきます。

さらにフィールド研のネットワークを活用した専門的知見の提供や地域の課題に対して科学的な視点で取り組みを持続するための様々な支援を行います。

